

歯科口腔外科における最新低侵襲治療の潮流

【講師メッセージ】

香川県内の歯科医師・医師の先生方やスタッフの皆様方には、日頃より患者さん方の診療を通して大変お世話になり誠にありがとうございます。今回、学術講演会を担当させていただきますこと、大変光栄なことに深く御礼申し上げます。

歯科治療に関する器具、機械、機材や材料は、日進月歩にて常に開発や改良が加えられ、治療手技の進歩との両輪をもって、医療は日々進歩し続けています。とりわけ 2000 年初頭から、われわれ口腔外科における手術治療においても、画像診断や手術シミュレーションソフトなどを用いたコンピューターアシスト下手術の展開や、ピエゾ素子を用いた切削器具による顎骨や歯の手術機材の変化、また顎口腔手術用内視鏡やナビゲーション等の新たな最新のシステムの開発と臨床応用がなされ、患者さんへ“より低侵襲で精密な口腔外科手術”の提供が可能となりました。さらには、口腔がんをはじめとした腫瘍や口腔粘膜病変などへ、口腔細胞診を取り入れることで病態診断までもが、より早期から低侵襲な方向に進みつつあります。

一方、歯科インプラント治療の発展は、今や、歯や顎口腔の欠損を補う口腔機能回復には必要不可欠な要素のひとつとなり、歯科治療を進める手段として重要な地位を築きつつあります。特に、われわれ口腔外科での、顎口腔腫瘍や顔面外傷、骨髄炎等の多彩な病態による比較的広範囲な 1/3 顎以上の欠損に対する形態と機能の回復を目的に、2012 年より歯科保険治療の一貫として歯科インプラントを応用した治療が認可され、多くの患者さんへの高い顎口腔機能回復効果から、高い信頼と満足を得ています。

そこで今回の講演では、われわれが取り組む“最新の口腔外科での低侵襲治療の潮流”を要説させていただきますとともに、“歯科インプラントによる口腔機能回復治療”の現状での到達点を要説し、参加頂く先生方やスタッフの方々の日常臨床の一助となるよう、分かりやすい講演を心掛けますので、是非ともよろしくお願い申し上げます。



講師 管野貴浩先生

島根大学医学部歯科口腔外科学講座准教授

【略歴等】 歯学博士 / 国際口腔顎顔面外科専門医 (FIBCSOMS) / 同 口腔がん/再建外科専門医 (FIBCSOMS-ONC/RECON) / (公社) 日本口腔外科学会認定 口腔外科指導医・専門医 日本がん治療認定医機構認定 がん治療認定医 (歯科口腔外科) / (公社) 日本顎顔面インプラント学会認定 指導医・専門医 / AOCMF International Faculty / 専門：口腔顎顔面外科学
1975 年 9 月 13 日 生まれ (43 歳) 東京都目黒区出身
2001 年 3 月 福岡県立九州歯科大学歯学部歯学科卒業
2001 年 4 月 福岡県立九州歯科大学大学院入学 口腔顎顔面外科学講座
形態機能再建外科学分野 (主任/指導：高橋 哲教授)
2005 年 3 月 同上 大学院修了 歯学博士の学位授与
2005 年 4 月 香川県立中央病院 歯科口腔外科 医員 (主任：三次正春部長)
2006 年 7 月 ドイツミュンヘン大学口腔顎顔面外科学 (AO Fellow) (Director and Head: Prof. Dr. Dr. Michael Ehrenfeld)
2007 年 5 月 スイスツルン大学口腔顎顔面外科学 (IBRA Fellow) (Director and Head: Prof. Dr. Dr. Tateyuki Iizuka)
2008 年 6 月 香川県立中央病院 歯科口腔外科 医長 (主任：古木良彦部長)
2012 年 4 月 島根大学医学部 歯科口腔外科学講座 講師 (主任：関根浄治教授)
医学部附属病院 顎顔面外傷センター長
2014 年 4 月 同上 副診療科長
2018 年 4 月 島根大学医学部/大学院医学研究科 歯科口腔外科学講座 准教授・診療科長
現在に至る

●日 時: 2018 年 11 月 10 日(土) 19 時 30 分～21 時

●会 場: ホテルマリンパレスさぬき(3階屋島の間) 高松市福岡町2-3-4 Tel.087-851-6677

●参加費: 会員 無料 未入会員 5,000 円

●定 員: 40 名 (先着順)

お申し込みは香川県保険医協会まで Fax して下さい Fax 087-802-1336

| | |
|-----|-----|
| ご氏名 | 医院名 |
| ご住所 | |